



ゾーン分割

- ・ [ゾーン分割 \(1 ページ\)](#)

ゾーン分割

ゾーン分割により、ストレージデバイス間またはユーザーグループ間でアクセスコントロールの設定ができます。ファブリックで管理者権限を持つユーザーは、ゾーンを作成してネットワークセキュリティを強化し、データ損失またはデータ破壊を防止できます。ゾーン分割は、送信元/宛先 ID フィールドを検証することによって実行されます。

SAN コントローラ リリース 12.0.1a 以降、通常のゾーンと IVR ゾーンが単一のゾーン分割ページにマージされます。



- (注) Web UI のゾーン分割にデバイスエイリアスが使用されている場合、エンドデバイスはファブリックにログインする必要があるため、Web GUI はデバイスエイリアスを使用してゾーン分割を設定できます。エンドノードにログインしていない場合は、ゾーン分割に PWWN を使用できます。

次の表では、SAN コントローラの [仮想管理 (Virtual Management)] > [ゾーン分割 (Zoning)] タブに表示されるフィールドとアイコンについて説明します。

フィールド	説明
ゾーン分割のタイプ	[通常 (Regular)] または [IVR] の横にあるオプションボタンを選択して、必要なゾーン分割タイプを選択します。
ファブリック	[ファブリック (Fabric)] ドロップダウンリストから、ゾーン分割を設定または表示するファブリックを選択できます。 管理者ロールがファブリックをロックしている場合、ファブリックフィールドの隣にロックアイコンが表示されます。

フィールド	説明
VSAN	<p>通常のゾーン分割タイプを選択して、VSAN フィールドを表示します。</p> <p>VSAN ドロップダウンリストから、通常のゾーンを設定する VSAN を選択できます。</p>
地域ID	<p>リージョン ID フィールドを表示するには、IVR ゾーン分割タイプを選択します。</p> <p>[リージョン ID (Region ID)]ドロップダウンリストから、IVR ゾーンを設定するリージョン名を選択できます。</p>
拡張ゾーン分割	<p>[VSAN] テキストフィールドの横にある [設定 (Configurations)] アイコンをクリックして、拡張ゾーン分割ウィンドウを表示します。</p> <p>(注) 拡張ゾーン分割は通常ゾーンでのみサポートされています。</p> <p>詳細については、拡張ゾーン分割セクションを参照してください。</p>
Cisco Fabric Services (CFS)	<p>[リージョン ID (Region ID)] フィールドの横にある [セットアップアシスタント (set-up assistant)] アイコンをクリックして、CFS ウィンドウを表示します。</p> <p>(注) CFS は、IVR ゾーン分割でのみサポートされます。</p> <p>詳細については、CFSの項を参照してください。</p>
スイッチ	<p>[スイッチ (Switch)] ドロップダウンリストから、設定するスイッチを選択します。</p>
Action	<p>[ゾーン分割 (Zoning)] フィールドで、[アクション (Actions)] をクリックして以下を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 変更 • データベース • サーバーキャッシュを消去 • 検出同期

フィールド	説明
変更	<p>[ゾーン分割 (Zoning)] フィールドで、[アクション (Actions)] > [変更 (Changes)] の順にクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • スマートゾーン分割を有効にする：すべてのスイッチのスマートゾーン分割設定を有効にします。 • 変更のコミット：ゾーン分割設定の変更をすべてのスイッチにコミットします。このフィールドは、ゾーンが拡張モードまたはスマートモードの場合にのみ適用されます。 • 保留中の破棄：保留中の変更の破棄を実行中です。
データベース	<p>[ゾーン分割 (Zoning)] フィールドで、[アクション (Actions)] > [データベース (Database)] をクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • データベースのバックアップ：[データベースのバックアップ (Backup Database)] を選択すると、[データベースのバックアップ (Backup Database)] ウィンドウが表示されます。名前を入力し、[バックアップ (Backup)] をクリックします。 • データベースの復元：[データベースの復元 (Restore Database)] を選択すると、[データベースの復元 (Restore Database)] ウィンドウが表示されます。適切なファイルをアップロードし、[復元 (Restore)] をクリックします。
サーバーキャッシュを消去	<p>[ゾーン分割] エリアで、[アクション (Actions)] > [サーバーキャッシュのクリア (Clear Server Cache)] の順に選択します。</p> <p>サーバー上のキャッシュをクリアします。</p>
検出同期	<p>[ゾーン分割 (Zoning)] エリアで、[アクション (Actions)] > [検出同期 (Discovery Sync)] を選択します。</p> <p>ゾーン分割モジュールを検出と同期するには。</p>

この章は、次の項で構成されています。

拡張ゾーン分割

SAN コントローラリリース 12.0.1a から、通常のゾーン分割タイプに拡張ゾーン分割機能が追加されました。

拡張ゾーン分割では、すべての設定が単一の設定セッション内で実行されます。セッションを開始すると、スイッチは変更を行うファブリック全体をロックします。

ゾーン分割タイプで[通常 (Regular)]オプションボタンを選択し、[VSAN]フィールドの横にある[設定 (Configurations)]アイコンをクリックして、[拡張ゾーン分割 (Enhanced zoning)]ウィンドウを表示します。

[拡張ゾーン分割 (Enhanced Zoning)]ウィンドウには、次のフィールドとその説明があります。

フィールド	説明
スイッチ	スイッチの IP アドレスを指定します。
モード	次のいずれかのスイッチのモードを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • Basic • Enhanced
結果	次のいずれかのアクティベーション結果を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 成功 • 失敗
以下によってロックされた設定 DB	ロックされた設定データベースのロール名を表示します。
Action	次のいずれかのスイッチのアクションを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • オペレーションなし • 変更を確定します。 • クリーンアップ <p>最後の列の [編集 (edit)] アイコンをクリックして必要なアクションを選択し、[チェックマーク (check mark)] アイコンをクリックして保存します。</p>
最後のアクション結果	最後の設定データベースのステータスを表示します。
完全な DB マージを強制する	ステータスを有効または無効に表示します。最後の列の [編集 (edit)] アイコンをクリックして必要なアクションを選択し、[チェックマーク (check mark)] アイコンをクリックして保存します。 <p>これを有効にすると、アクティブゾーンとローカルゾーンの両方がマージされ、VSAN のすべてのスイッチで同一になります。</p>

フィールド	説明
続きを読む	<p>拡張ゾーンまたはIVRCFS対応ゾーンの場合、スイッチのゾーン分割DBに変更が加えられると、commit コマンドが発行されるまで、すべてのゾーンデータが保留中のデータベースにプッシュされます。</p> <p>このフラグは、ユーザーが保留中のゾーン DB（コピー DB）または通常のゾーン DB（有効な DB）からデータを取得するのに役立ちます。</p> <p>最後の列の [編集 (edit)] アイコンをクリックして必要なアクションを選択し、[チェックマーク (check mark)] アイコンをクリックして保存します。</p>
アクティブ化された日付	ゾーンセットがアクティブ化された日付を指定します。

SAN コントローラ Web UI の [拡張ゾーン分割 (Enhanced Zoning)] ウィンドウでさまざまな操作を実行するには、次の手順を実行します。

Procedure

- ステップ 1 [仮想管理 (Virtual Management)] > [ゾーン分割 (Zoning)] を選択し、必要な [ゾーンタイプ (Zone Type)]、[ファブリック (Fabric)]、および [VSAN] を選択します。
- ステップ 2 [VSAN] フィールドの隣にある [設定 (configurations)] アイコンをクリックします
[拡張ゾーン分割 (Enhanced Zoning)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3 [続きを読む (Read from)] 列の横にある [編集 (Edit)] アイコンをクリックして必要なデータベースを選択し、[チェックマーク (Tick)] アイコンをクリックして保存します。
- ステップ 4 モードを基本から拡張に変更するには、[アクション (Actions)] > [モードを拡張に設定 (Set Mode to Enhanced)] を選択し、[適用 (Apply)] をクリックします。
- ステップ 5 同じ手順に従って、モードを拡張から基本に設定し、[アクション (Actions)] > [モードを基本に設定 (Set Mode to Basic)] を選択して、[適用 (Apply)] をクリックします。

CFS

Cisco Fabric Service (CFS) は、IVR ゾーン分割のファブリック内で自動的に設定を同期化するための、共通のインフラストラクチャを提供します。CFS が 1 つのスイッチで設定されていて、同じプロパティを他のスイッチで送信できる場合、スイッチで IVR を有効または無効にすることができます。さらに、選択したスイッチで CFS とグローバル CFS の両方を有効または無効にすることができます。

ゾーン分割タイプで[IVR]オプションボタンを選択し、[VSAN]フィールドの隣にある[セットアップアシスタント (set-up assistant)] アイコンをクリックして、CFS ウィンドウを表示します。

CFS ウィンドウでは、以下のタブを表示できます。

- Control
- IVR
- Action

次の表では、[コントロール (Control)] タブに表示されるフィールドについて説明します。

フィールド	説明
スイッチ	スイッチの IP アドレスを指定します。
IVR ステータス	スイッチで IVR が有効または無効であるかを表示します。
編集	[編集 (Edit)] アイコンをクリックしてスイッチの IVR を有効または無効にし、チェックマークをクリックして変更を保存します。
リフレッシュ	表を更新するには、更新 アイコンをクリックします。
適用	[適用 (Apply)] をクリックして、スイッチの変更ごとに変更を保存します。
完了	[完了 (Done)] をクリックしてすべての変更を保存し、CFS ウィンドウを終了します。

次の表では、[IVR] タブに表示されるフィールドおよび説明について記述します。

フィールド	説明
スイッチ	スイッチの IP アドレスを指定します。
CFS ステータス	CFS ステータスを有効にするか無効にするかを指定します。
グローバル CFS	スイッチでこの機能を有効にするか無効にするかを指定します。
続きを読む	ステータスを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 有効な DB • DB をコピー
ロック所有者 (Lock Owner)	スイッチが管理者によってロックされていることを指定します。
結合ステータス	発生したファブリックマージを指定します。
地域ID	スイッチのリージョン ID を指定します。

フィールド	説明
編集	[編集 (Edit)] アイコンをクリックして、選択した行の [続きを読む (Read from)] 列および [リージョン ID (Region ID)] 列の変更を実行します。
適用	[適用 (Apply)] をクリックして、スイッチの変更ごとに変更を保存します。
リフレッシュ	表を更新するには、 更新 アイコンをクリックします。
完了	[完了 (Done)] をクリックしてすべての変更を保存し、CFS ウィンドウを終了します。

SAN コントローラ Web UI から IVR タブのスイッチでさまざまな操作を実行するには、次の手順を実行します。

Procedure

- ステップ 1** スイッチを選択し、**[アクション (Actions)]** > **[コミット (Commit)]** の順に選択し、**[適用 (Apply)]** をクリックして、スイッチで IVR を有効にします。
- Note** 変更をコミットできるのは、選択したスイッチで CFS が有効になっている場合だけです。
- ステップ 2** スイッチを選択し、**[アクション (Actions)]** > **[中止 (Abort)]** の順に選択し、**[適用 (Apply)]** をクリックしてスイッチの IVR を無効にします。
- ステップ 3** スイッチを選択し、**[アクション (Actions)]** > **[クリア (Clear)]** を選択し、**[適用 (Apply)]** をクリックして、スイッチの IVR 情報をクリアします。
- ステップ 4** スイッチを選択し、**[アクション (Actions)]** > **[CFS の有効化 (Enable CFS)]** の順に選択し、**[適用 (Apply)]** をクリックしてスイッチで CFS を有効にします。
- ステップ 5** スイッチを選択し、**[アクション (Actions)]** > **[グローバル CFS を無効にする (Disable Global CFS)]** を選択し、**[適用 (Apply)]** をクリックして、スイッチで CFS をグローバルに有効にします。

次の表では、**[アクション (Action)]** に表示されるフィールドおよび説明について記述します。

Actions	説明
スイッチ	スイッチの IP アドレスを指定します。
アクティブ	スイッチのアクティブステータスが true または false であることを指定します。
アクティベーション時間	アクティベーションの日付と時刻を指定します。
IVR NAT ステータス	IVR ステータスを有効にするか無効にするかを指定します。
自動検出トポロジ	自動検出トポロジステータスが true か false かを指定します

Actions	説明
編集	[編集 (Edit)] アイコンをクリックして、選択した行の IVR NAT ステータス列と自動検出トポロジ列の変更を実行します。
地域ID	スイッチのリージョン ID を指定します。
編集	[編集 (Edit)] アイコンをクリックして、選択した行の [続きを読む (Read from)] 列および [リージョン ID (Region ID)] 列の変更を実行します。
適用	[適用 (Apply)] をクリックして、スイッチの変更ごとに変更を保存します。
リフレッシュ	表を更新するには、更新 アイコンをクリックします。
完了	[完了 (Done)] をクリックしてすべての変更を保存し、CFS ウィンドウを終了します。

ゾーンセット

選択したファブリック、VSAN、およびスイッチに基づいて、[ゾーンセット (Zoneset)] エリアには、設定されたゾーンセットとそのステータスが表示されます。ゾーンセットを作成、コピー、削除、または編集できます。さらに、ゾーンセットはアクティブ化または非アクティブ化できます。

次の表では、SAN コントローラの [仮想管理 (Virtual Management)] > [ゾーン分割 (Zoning)] [[ゾーンセット (Zonesets)] タブに表示されるフィールドと説明について説明します。

フィールド	説明
ゾーンセット名	選択したゾーンセットの下で設定されているすべての名前を一覧表示します。
変更日	ゾーンセットが変更されているかどうかを表示します。
ゾーン	選択したゾーンセットの下に設定されているすべてのゾーンを一覧表示します。
メンバー	選択したゾーンに存在するメンバーを一覧表示します。
アクティブ化された日付	ゾーンセットがアクティブ化された日付を指定します。

手順

ステップ 1 SAN コントローラ Web UI からゾーンセットを作成するには、[アクション (Actions)] > [ゾーンセットの作成 (Create Zoneset)] の順に選択します。

[ゾーンセットの作成 (Create Zoneset)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 ゾーンセットの有効な名前を入力し、[ゾーンセットの作成 (Create zoneset)] をクリックします。

ゾーンセットが作成され、[ゾーンセット (Zoneset)] エリアに表示されます。

ステップ 3 ゾーンセットをコピー/複製するには、オプションボタンを選択し、[アクション (Actions)] > [ゾーンセットのコピー/複製 (Copy/Clone Zoneset)] を選択するか、必要なゾーン名の最後の列にある [楕円 (ellipse)] アイコンをクリックします。

[ゾーンセットのコピーまたは複製 (Clone or Copy Zoneset)] ウィンドウには 2 つのオプションが表示されます。

適切なオプションボタンを選択します。次のいずれかを選択できます。

- [コピー (Copy)] : 初期ゾーンセットのゾーンのコピーで構成される新しいゾーンセットを作成します。

- コピーされたゾーンセットを識別するために、文字列を先頭または末尾に追加できます。[タグ (Tag)] フィールドに有効な文字列を入力し、[名前の負荷 (Prepend names)] または [名前の追加 (Append names)] オプションボタンを選択します。

- [複製 (Clone)] : ソースゾーンセットと同じゾーンで構成される新しい名前での新しいゾーンセットを作成します。

[名前 (Name)] フィールドに、新しいゾーンセットの有効な名前を入力します。

- [ゾーンセットのコピー (Copy zoneset)] をクリックして、ゾーンセットを複製またはコピーします。

複製またはコピーされたゾーンセットが [ゾーンセット (Zoneset)] エリアに表示されません。

ステップ 4 ゾーンセットを削除するには、[ゾーンセット名 (Zoneset Name)] 列の横にある [ゾーンセット (zoneset)] オプションボタンを選択し、[アクション (Actions)] > [ゾーンセットの削除 (Delete Zoneset)] の順に選択します。

確認ウィンドウが表示されます。[はい (Yes)] をクリックして、ゾーンセットを削除します。

ステップ 5 ゾーン名を編集するには、[ゾーンセット名 (Zoneset Name)] 列の横にあるゾーンオプションボタンを選択し、[アクション (Actions)] > [ゾーンとメンバーの編集 (Edit zones & member)] を選択するか、必要なゾーン名の最後の列にある [楕円 (ellipse)] アイコンをクリックします。

選択したファブリックの [ゾーンセット (Zoneset)] ページが表示されます。

[ゾーン名 (Zone Name)] 列の横にあるチェックボックスをオンにして、[アクション (Actions)] > [ゾーン名の変更 (Rename zone)] の順に選択します。

ゾーンセットの新しい名前を入力します。[Rename] をクリックします。

ステップ6 ゾーンセットを非アクティブ化するには、[ゾーンセット名 (Zoneset Name)] 列の横にある [ゾーンセット] オプションボタンを選択し、[アクション (Actions)] > [非アクティブ化 (Deactivate)] をクリックします。

確認ウィンドウが表示されます。[はい (Yes)] をクリックして、ゾーンセットを非アクティブにします。

ステップ7 ゾーンセットをアクティブにするには、[ゾーンセット名 (Zoneset Name)] 列の横にあるオプションボタンを選択し、[アクティブ化 (Activate)] をクリックします。

[ゾーンセットの差異 (Zoneset Differences)] ウィンドウには、以前にアクティブ化されてからゾーンセットに加えられた変更が表示されます。[Activate] をクリックします。

ゾーン

UIパス: [仮想管理 (Virtual Management)] > ゾーン分割 (Zoning)。ゾーンメンバーを選択すると、スライドインパネルが表示されます。[起動 (Launch)] アイコンをクリックして、[ゾーン (Zones)] ウィンドウを表示します。

選択したゾーンセットに基づいて、そのゾーンセットの下に構成されているゾーンが [ゾーン (Zones)] エリアに表示されます。[ゾーン (Zones)] タブを表示するには、ゾーンセットのオプションボタンをクリックし、[アクション (Actions)] > [ゾーンとメンバーの編集 (Edit zones & members)] を選択します。[ゾーンセット (Zoneset)] ウィンドウが表示されます。また、VSANに有効になっているスマートゾーンがある場合にのみ、trueまたはfalseが表示されます。

ゾーンを作成、コピー、削除、または複製し、名前を変更することができます。また、VSANに有効になっているスマートゾーンがある場合にのみ、trueまたはfalseが表示されます。さらに、選択したゾーンセットにゾーンを追加または削除できます。ゾーンテーブルでスマートゾーンを有効または無効にすることもできます。

ゾーンエリアには、次のフィールドとその説明があります。

フィールド	説明
属性別フィルタ処理	必要なゾーン名またはゾーンセットとメンバーを指定して検索できます。
ゾーンセットに追加	ゾーン名を選択し、[ゾーンセットに追加 (Add to zoneset)] をクリックします。
リフレッシュ	表を更新するには、更新 アイコンをクリックします。

フィールド	説明
Zone Name	ゾーンの名前を表示します。 ゾーン名を指定して検索できます。
ゾーンセット内	ゾーンがゾーンセットの一部であるかどうかを指定します。 ゾーンがゾーンセットの一部である場合は true を表示します。それ以外の場合は、 false を表示します。 [ゾーンセット内 (In Zoneset)] ドロップダウンリストから true または false を選択して検索できます。
メンバー	ゾーンのゾーンメンバーを指定します。 メンバーを指定して検索できます。

Procedure

- ステップ 1** ゾーンを作成するには、**[仮想的な管理 (Virtual Management)] > [ゾーン分割 (Zoning)]** を選択します。
- ステップ 2** **[ゾーンセット (Zonesets)]** エリアで、必要なゾーンセット名を選択します。
スライドインパネルが表示されます。
- a) **[ゾーニングの編集 (Edit Zoning)]** または **[起動 (launch)]** アイコンをクリックして、**[ゾーンセット (Zoneset)]** ウィンドウを表示します。
デフォルトでは、**[ゾーン (Zones)]** タブが表示されます。
- ステップ 3** ゾーンを作成するには、**[アクション (Actions)] > [新しいゾーンの作成 (Create new zone)]** を選択します。
- a) **[新しいゾーンの作成 (Create new zone)]** で、ゾーンの有効な名前を入力し、**[作成 (Create)]** をクリックします。
- b) **[新しいゾーンの作成 (Create new zone)]** をクリックします。
- c) **[スマートゾーン分割 (Smart Zoning)]** の横にある選択ボックスを選択して、新しいゾーンのスマートゾーン分割を有効にします。
ゾーンが作成され、**[ゾーン (Zones)]** エリアに一覧表示されます。
- ステップ 4** スマートゾーンを有効にするには、**[ゾーン名 (Zone Name)]** の横にある必要なチェックボックスをオンにして、**[アクション (Actions)] > [スマートゾーンを有効にする (Enable smart zoning)]** を選択します。
スマートゾーン列は、VSANでスマートゾーン分割が有効になっている場合にのみ表示できます。

ステップ5 スマートゾーンを無効にするには、[ゾーン名 (Zone Name)] の横にある必要なチェックボックスをオンにして、[アクション (Actions)]、>[スマートゾーンを無効にする (Disable smart zoning)] の順に選択します。

ステップ6 ゾーンを複製するには、[構成 (Configure)] > [SAN] > [ゾーン分割 (Zoning)] > [ゾーン (Zones)] を選択し、[ゾーン (Zone)] オプションボタンを選択して [ゾーンの複製 (Clone Zone)] アイコンをクリックします。

[ゾーンの複製 (Clone Zone)] ウィンドウが表示されます。

a) [名前 (Name)] フィールドに、新しいゾーンセットの有効な名前を入力します。

b) [クローン (Clone)] をクリックして、ゾーンを複製します。

複製されたゾーンが [ゾーン (Zones)] エリアに表示されます。

ステップ7 ゾーンセットからゾーンの名前を変更するには、[ゾーン名 (Zone Name)] の横にある必要なチェックボックスをオンにして、[アクション (Actions)]、>[ゾーン名の変更 (Rename zone)] の順に選択します。

[名前 (Name)] フィールドに、ゾーンの新しい名前を入力して、[名前の変更 (Rename)] をクリックします。

ステップ8 ゾーンセットからゾーンを削除するには、[ゾーン名 (Zone Name)] の横にある必須チェックボックスをオンにして、[アクション (Actions)]、>[ゾーンセットから削除 (Remove from zoneset)] の順に選択します。

選択したゾーンセットからゾーンが削除されます。ゾーン名の横にある緑色のチェックマークが消え、ゾーンがゾーンセットから削除されたことを示します。

ステップ9 ゾーンセットからゾーンを削除するには、[ゾーン名 (Zone Name)] の横にある必要なチェックボックスをオンにして、[アクション (Actions)]、>[ゾーンの削除 (Delete zone)] の順に選択します。

単一または複数のゾーンを選択して、すぐに削除できます。

Note 選択したゾーンセットのメンバーであるゾーンは削除できません。ゾーンを削除するには、ゾーンセットからゾーンを削除します。

FC エイリアス

ナビゲーションパス : 仮想管理 > > ゾーン分割 > ゾーンセット > メンバー

SAN コントローラリリース 12.0.1a 以降、FC エイリアス機能は通常のゾーンでサポートされます。これは、1 つ以上の pWWN を必要な名前に関連付けるために使用されます。ゾーンメンバーを追加すると、FC エイリアスを追加したり、既存の FC エイリアスを削除したりできます。[FC エイリアス (FC Aliases)] タブには、以下のフィールドが表示されます。

- [FC エイリアス (FC Aliases)] : FC エイリアスの名前を指定します。
- [メンバー (Member)] : FC エイリアスに関連付けられたメンバーを指定します。

FC エイリアス操作を行うには、次の手順を実行します。

Procedure

- ステップ 1** [仮想的な管理 (Virtual Management)] > [通常ゾーン (Regular Zones)] を選択し、必要なゾーンセット名をクリックします。
- スライドインパネル ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [ゾーン分割の編集 (Edit Zoning)] または [起動 (launch)] アイコンをクリックして、[ゾーンセット (Zoneset)] ページを表示します。
- ゾーンセットウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** [FC エイリアス (FC Aliases)] タブをクリックして、[FC エイリアス (FC Aliases)] エリアを表示します。
- ステップ 4** 新しい FC エイリアスを作成するには、[アクション (Actions)] > [新しい FC エイリアスの作成 (Create new FC Alias)] の順に選択します。
- [新しい FC エイリアスの作成 (Create new FC Alias)] ウィンドウが表示されます。
- a) テキストフィールドに有効な名前を入力し、[FC エイリアスの作成 (Create FC Alias)] をクリックします。
- FC エイリアスが作成され、[FC エイリアス (FC Aliases)] エリアに一覧表示されます。
- ステップ 5** 新しい FC エイリアスを削除するには、[FC エイリアス (FC Aliases)] 列の横にある必要なチェックボックスをオンにして、[アクション (Actions)] > [FC エイリアスの削除 (Delete FC Alias)] の順に選択します。

メンバー

UIパス : [仮想管理 (Virtual Management)] > [ゾーン分割 (Zoning)] > [ゾーンセット (Zon Sets)] > [メンバー (Members)]

選択したゾーンセットとゾーンに基づいて、[メンバー (Members)] エリアにゾーンメンバーとそのステータスが表示されます。メンバーの詳細を表示するには、[属性別フィルタ処理 (Filter by attributes)] テキストフィールドに必要なフィールド名を入力します。

メンバーエリアには、次のフィールドとその説明があります。

フィールド	説明
Parent	ゾーンメンバーの名前を表示します。 ゾーン名を指定して検索できます。
メンバー	ゾーンのメンバー名を表示します。

フィールド	説明
スイッチ	ゾーンメンバーがリンクされているスイッチを指定します。 スイッチを指定して検索できます。
インターフェイス	ゾーンメンバーが接続されているインターフェイスを指定します。 インターフェイスを指定して検索できます。
ステータス	ゾーンの状態を指定します。
ゾーン分割のタイプ	ゾーン分割のタイプを表示します。 WWN、FCID、FC エイリアス、または iSCSI、FQDN、デバイスエイリアス、IP サブネットなどのゾーン分割のタイプで検索できます。
FCID	ゾーンメンバーに関連付けられた FCID を指定します。 ゾーンメンバーに関連付けられている FCID を指定して検索できます。
pWWN	スイッチの pWWN を指定します。 スイッチの WWN を指定して検索できます。

ゾーンセットのメンバーを追加または削除できます。さらに、既存のメンバーを追加したり、既存の FC エイリアスをメンバーに追加したりすることもできます。

SAN コントローラ Web UI から、[仮想管理 (Virtual Management)] > [ゾーン分割 (Zoning)] > [ゾーンセット (Zoneset)] > [メンバー (Members)] を選択して、[ゾーンセット (Zoneset)] ウィンドウのメンバーエリアを表示します。

ゾーンセットとゾーンを選択して、ゾーンメンバーのリストを表示します。

Procedure

ステップ 1 新しいメンバーを作成するには、[メンバー (Members)] 領域で、[アクション (Actions)] > [新しいメンバーの作成 (Create new member)] の順に選択します。

[新しいメンバーの作成と追加 (Create and Add a new Member)] ウィンドウで、適切なゾーンのオプションボタンを選択します。

テキストフィールドに有効な名前を入力し、[メンバーの作成 (Create Member)] をクリックします。

オプションボタンセクションによるゾーンに基づいて、新しい名前は、すべてのゾーンではなく、選択されたゾーンのみにつけられます。たとえば、WWN ゾーンを選択した場合、テキストフィールドの名前は WWN ゾーンの名前です。同様に、[ドメインとポートゾーン (Domain & Port zone by)] を選択すると、ドメイン ID 番号とスイッチインターフェイス名になります。

[新しいメンバーの作成 (Create new Member)] では、現在ファブリックに存在しないゾーンにメンバーを追加できます。この機能は、デバイス検出ですべてのデバイスが検出されなかった場合に利用できます。追加可能な機能を使用すると、検出されたデバイスをゾーンに追加できます。

ステップ 2 ゾーンメンバーを削除するには、[親 (Parent)] 列の横にあるチェックボックスをオンにして、[アクション (Actions)] > [ゾーンからメンバーを削除 (Remove Member from zone(s))] をクリックします。

インスタンス内の複数のゾーンを選択して削除できます。

ステップ 3 既存のメンバーを追加するには、[アクション (Actions)] > [既存のメンバーの追加 (Add existing members)] の順に選択します。

[既存のメンバーの追加 (Add existing members)] ウィンドウが表示されます。

このウィンドウには、次のフィールドとその説明があります。

フィールド	説明
Zone By	[Zone by] 機能は、デバイス WWN またはデバイスエイリアスを使用して、デバイスをゾーンに追加する必要があるかどうかを決定します。 [Zone by : エンドポート (Zone By: End Ports)] を選択した場合、デバイスは WWN によってゾーンに追加されます。 同様に、デバイスエイリアスと FC エイリアスの場合、デバイスはそれぞれデバイスエイリアスと FC エイリアスによってゾーンに追加されます。選択した Zone by に基づいて、デバイスが表示されます。
メンバー名	ゾーンの名前を表示します。 ゾーン名を指定して検索できます。
Type	スイッチがストレージまたはホストであることを指定します。
スイッチ	ゾーンメンバーがリンクされているスイッチを指定します。 スイッチを指定して検索できます。
インターフェイス	ゾーンメンバーが接続されているインターフェイスを指定します。 インターフェイスを指定して検索できます。
pWWN	スイッチの pWWN を指定します。 スイッチの pWWN を指定して検索できます。
VSAN	ゾーンメンバーが属する VSAN を指定します。

ステップ 4 オプションで適切な [Zone by] を選択し、必要な [メンバー名 (Member Name)] を選択します。

ステップ 5 [メンバーの追加 (Add Members)] をクリックします。

Note 複数のゾーンを選択できます。ゾーンテーブルで現在選択されているすべてのゾーンのリストを示すダイアログが表示されます。
